「中国・アジア」ダイジェスト

2013.03.18－03.29

＊記事は東京発行・最終版

CHINA

3月18日（月）

■「アコードＨＶ」、中国・タイに
ホンダ／世界展開

ホンダは、中型セダン「アコード」のハイブリッド車（ＨＶ）を中国とタイへの投入を検討する。2013年初夏に日本でＨＶ専用車として発売するのを皮切りに米国でも発売。（８面）

■合肥に携帯向け成形品の合弁
黒田電気／インドネシアに子会社

黒田電気は、４月に安徽省合肥市に携帯電話や家電向けの成形品などを製造・販売する合弁会社を設立する。インドネシアでは自動車用金属プレス部品・樹脂成形品の現地企業を子会社化。（11面）

■中国の通販にラオックス出店
富士通マーケ／富裕層向け

富士通マーケティングは、ラオックスと連携し、中国の富裕層向けインターネット通販事業を始める。子会社が運営に参画する富裕層向け電子商取引サイトにラオックスが出店する。（13面）

■化学３社、間接部門コスト削減
中国勢の供給過多

総合化学大手３社が、石油化学事業の収益悪化を受けて経理や購買など間接部門のコスト削減に乗り出した。主力とする化学品は、中国での相次ぐ生産増強で供給過多に陥り採算が悪化。（14面）

3月19日（火）

■京二、中国製工具ＰＢ展開
エンドミルなど／ネット販売も

ミャンマーのアウンサンスーチー国民民主連盟（ＮＬＤ）議長は、4月13日に来日し、安倍晋三首相らと会談する予定（ブルームバーグ）

京二は、中国製切削工具のＰＢ展開に乗り出す。現地の中堅メーカーからＯＥＭ供給。５月発売。ネット販売限定の標準エンドミルのほか、ドリル、特殊エンドミル、リーマなど。（７面）

3月20日（水）

■日中韓ＦＴＡ初会合
韓国・ソウル／26―28日

日中韓ＦＴＡ交渉の初会合を韓国・ソウルで26―28日に開く。交渉の進め方や交渉分野などを議論。３カ国ＧＤＰは世界２割の巨大経済圏になる。日本のＴＰＰ交渉参加で姿勢に変化も。（２面）

3月21日（木）

■ホンダ、直噴ターボ車に参入
「シビック」／日欧米中に展開

ホンダは、2014年末に低燃費化する直噴ターボ車に参入する。欧州向け「シビックタイプＲ」を皮切りに複数車種に設定して欧州、日本、米国、中国などに展開。100万台を超す販売を見込む。（１面）

■上海に半導体の設計ソフト販社
ジーダット

ジーダットは、上海で電子回路の設計自動化（ＥＤＡ）ソフトウエアを販売する子会社を５月に設立する。成長が見込めながら手つかずだった半導体の設計ソフトを売り込む。（５面）

■スマホ用パネル月300万枚
電気化学工業／中国増強

電気化学工業は、2013年度にスマートフォン用タッチパネルの切断加工能力を最大で現状比倍増の月産300万枚に高める。中国などの協力工場で能力を拡張。試作開発機能も拡充する。（10面）

■中国のカラートレンド紹介
ＤＩＣ

ＤＩＣは、中国のカラートレンドを紹介した書籍『チャイナ・カラートレンド・ブック2014―15年版』を発刊した。中国の価値観や社会的背景、現地クリエーターの動向を基にまとめた。（10面）

3月26日（火）

■「日中韓ＦＴＡ」 交渉開始
巨大自由貿易圏に動き出す

日中韓ＦＴＡの初会合が26日、韓国・ソウルで開かれる。３カ国のＧＤＰは世界の２割。車などのサプライチェーンで深い関係にある〝アジア３強〟が巨大自由貿易圏に動き出す。（深層断面＝34面）

■バスの最適走行システム実証
最適速度を通知／デンソー

デンソーは、中国で無線通信を使ったバスの最適走行システムの実証を始めた。上海の同済大学と共同。交差点通過時の最適スピードを運転手に通知。接近時に信号を変えて優先通行。（５面）

■瀋陽で成長企業に投資
日本アジア投資／元建てファンド

日本アジア投資（ＪＡＩＣ）は、瀋陽市に進出する日系企業をはじめ、今後成長が期待できる中国企業などに投資する総額３億元（約45億円）規模の人民元建てファンドを設立する。（19面）

3月27日（水）

■ショーワ、中国の生産品目集約
不買運動後、短期に需要の増見込めず

ショーワは、2013年度以降、中国国内で生産品目を集約・再編する検討を始めた。不買運動後、短期に大幅な需要の増加は見込めないと判断した。広州や武漢などに４工場ある。（７面）

■ロケット、16回打ち上げ
ドッキング実験／今年

中国航天科技集団（宇宙開発国有企業）は、2013年にロケットを計16回打ち上げる。有人ドッキング実験に向け、有人宇宙船「神舟10号」など宇宙機を計20機を載せる。（29面）

3月28日（木）

■日通と貨物割引契約
羽田－中国・タイ／大田区産振協

日本通運と大田区産業振興協会は、羽田空港と中国、タイの空港間の航空貨物輸送で、大田区内中小企業が大口企業並みの割安料金で利用できるサービスを実施する契約を結んだ。（１面）

■積水化学がＧＦＲＰ合弁
河北省／水インフラ関連

積水化学工業は、河北省冀州市にガラス繊維強化プラスチック（ＧＦＲＰ）製の配管やタンクなどの製造と施工を行う合弁会社「積水可耐特（河北）環境科技」が４月１日に操業する。（12面）

■ファインケミカル拡大
キユーピー／中国・東南ア化粧品向け

キユーピーは、化粧品用ヒアルロン酸などのファインケミカル事業で、2013年度売上高100億円を目指す。高成長が期待できる中国・東南アジアの化粧品向けを中心に売り上げを拡大する。（15面）

3月29日（金）

■液晶フィルム対中供給強化
三菱樹脂／日本からタッチパネル用

三菱樹脂は、中国の液晶ディスプレー市場を開拓するため、国内外でＰＥＴフィルムの供給体制を整える。中国でバックライトユニット用を７月生産開始。日本からタッチパネル用を輸出。（23面）

■ＳＢＳ、香港に現法
華南の日系向け物流

ＳＢＳホールディングスは、香港に現地法人を設立し、４月１日に業務を始める。香港や中国・華南地区の日系メーカーなどを中心にフォワーディングや倉庫、通関などの事業を展開。（27面）

TELOP

■「世界のプリン」、中国など２品
雪印メグミルク（19日20面）

■パンチ工業、完全子会社を増資
大連／設備投資（21日５面）

■アイホン、上海に販社
インターホン（26日８面）

■中国でモバイルゲーム配信
ＮＴＴドコモ（27日15面）

■黒鉛電極社の子会社化を完了
昭和電工（27日17面）

■中国特許、680万件を網羅
特許情報機構／検索サイト（29日32面）

● ひと

暖房を消して

「冬も暖かい。暖房していないモデルハウスで、掃除のおばさんが暖房を消してと頼んだほど」と笑うのは、大和ハウス工業取締役の濱隆さん。そんな抜群の断熱性を示すのは、同社の中国専用住宅のこと。省エネ性能が「中国の方に一番受けた」。（21日＝11面）

ASIA

3月18日（月）

■いすゞ、インド南部に新工場
ピックアップトラック／年10万台

いすゞ自動車のインド現地法人は、南部のアンドラ・プラディッシュ州政府と、ピックアップトラックの生産で覚書を結んだ。2016年をめどに工場。年10万台の販売規模。（８面）

■アイダエンジ、マレーシア移管
サーボモーター／月産10―30台

アイダエンジニアリングは、マレーシアでプレス機械の駆動に使うサーボモーターの生産を始める。汎用機向けを日本から移管する。中国・台湾勢の価格攻勢に対抗する。月産10―30台。（10面）

3月19日（火）

■ＴＰＰ－４カ国が歓迎
ベトナム・シンガポールなど

ＴＰＰ交渉への参加表明を受け、交渉参加11カ国のうち米国、ベトナム、シンガポール、ニュージーランドの４カ国が歓迎の意を示した。菅義偉官房長官が記者会見で明らかにした。（２面）

■パキスタンで新興国向けＳＵＶ
トヨタ／日・タイから部品

トヨタ自動車は、パキスタンで新興国向けＳＵＶ「フォーチュナー」の生産を始めた。年2000台。日本とタイから部品を輸出、現地で溶接以降を手がける完全ノックダウン方式。（６面）

タイ工場からフォーチュナーの部品をパキスタンに送る（トヨタ）

■インドネシアに子会社
マシン三洋／ＦＡ機器提案

マシン三洋は、インドネシアでＦＡ機器などを提案営業する子会社「マシン三洋インドネシア」を設立した。機械設備やＦＡメカトロ機器販売専門の商社である同社として初の海外拠点。（７面）

■古野電気、韓国に新会社
舶用／部品・技術サービス

古野電気は、韓国釜山市に全額出資子会社「フルノコリア」を４月１日設立。舶用事業の最重要市場である商船市場で、今後も成長が期待できる韓国で部品の販売や技術サービスを強化。（７面）

■ＳＵＳ、タイに新工場
ＦＡ機器／フィリピンに販社

ＳＵＳは、タイを軸に東南アジアでＦＡ機器の製造、販売を強化する。2014年にタイ・ラヨーン県に新工場を建設するほか、フィリピンに今年秋をめどに販売会社を設立する。（８面）

3月20日（水）

■東レ、480億円投資
インドネシア／紙おむつ原料工場など

東レは、2020年までにインドネシアで約５億ドル（約480億円）を投資する。紙おむつ原料工場を含む繊維事業に２億5000万ドル（約240億円）、残りは包装フィルムや水処理膜、医薬・医療分野。（２面）

■カシオ、タイ・ドバイに販社
東南ア・中近東を開拓

カシオ計算機はタイとアラブ首長国連邦のドバイに販売会社を設立する。１―２年後開設。新興国市場での販売は中国を先行させたこともあり、東南アジアや中近東の開拓が遅れている。（５面）

■スズキ、タイに「エルティガ」
ファミリー向け小型車／年6000台

スズキは、タイで３列シートの小型車「エルティガ」を発売した。インドネシア工場で生産し、タイに輸出する。排気量1400ccのガソリン車。ファミリー向けを中心に年販6000台を目指す。（５面）

タイに投入したファミリー向け小型車「エルティガ」（スズキ）

■日本写真印刷、韓国に合弁
モバイル機器向けタッチパネル

日本写真印刷は、韓国エスマックとモバイル機器向けタッチパネル部品の合弁会社を設立する。エスマック工場に日写の設備を持ち込み、印刷工法でフィルム静電容量タッチセンサーを生産。（６面）

■マンダム、インドネシア新工場
国内も新設／化粧品６割増強

マンダムは、国内とインドネシアで生産拠点を新設、化粧品の生産能力を５―６割増強する。約72億円投資。インドネシアでは容器工場があるブカシ県に現地法人の新本社や新工場を建設。（９面）

3月21日（木）

■りそな、マレーシア地銀と提携
中小の進出後押し

りそな銀行は、マレーシアの地場銀行との提携で最終調整。取引先が同国に進出し事業を展開する際、両行が進出支援業務などで協業する。中小企業の海外進出ニーズが増加基調にある。（１面）

■韓国にサイバー攻撃
放送局・銀行／システムダウン

韓国大統領府は、放送局や銀行などのコンピューターシステムが午後、一斉にダウンしたことを明らかにした。韓国放送通信委員会は、サイバー攻撃とみて、送信元などを追跡。（時事＝２面）

■ベトナムで洗濯機を生産
パナソニック／年60万台

パナソニックは、ベトナムで洗濯機の生産を４月に始める。縦型全自動洗濯機を生産し、2014年度に60万台。５割をベトナムで、残りをＡＳＥＡＮや中近東に輸出。約30億円投資。（７面）

3月22日（金）

■ミャンマーで微生物探索
８年ぶり再開／製品評価機構

製品評価技術基盤機構は、秋をめどにミャンマーでの微生物資源探索を８年ぶりに再開。政情不安などを受けて中断していた。医薬・食品メーカーが同国特有の新種を活用できる。（２面）

微生物を活用した各産業の規模

業　種	用　途	金額（億円）
医薬品	発酵生産物、バイオ医薬（インスリンなど）	3,654
化　学	工業原料、化粧品、香料	6,556
農　業	キノコ、微生物資材	473
食　品	酒類、調味料、発酵食品、アミノ酸、ビタミン	47,826
畜水産	飼料、飼料添加物	478
繊　維	繊維加工酵素	6
環　境	水・土壌処理	489
合　計		59,482

※経済産業省の資料を基に作成

■保土谷化学、韓国に新工場
有機ＥＬ発光材／生産能力５倍

保土谷化学工業は、今夏をめどに韓国で有機ＥＬ用発光材料の新工場を本格稼働し、生産能力を３－５倍に引き上げる。正孔輸送材などの設備を新工場にも導入しＢＣＰを強化する。（12面）

■渋滞抑制技術を公道で実験
ホンダ／ジャカルタ

ホンダは、インドネシアのジャカルタ市でスマートフォンを使い渋滞抑制技術の公道実験を行った。渋滞発生を遅らせて燃費を２割以上向上する効果を確認。機能拡充や２輪車に応用する。（５面）

渋滞発生を遅らせて燃費を２割以上向上（ホンダ）

3月25日（月）

■ベトナムを２輪輸出拠点に
ホンダ／第４拠点

ホンダは、ベトナム工場を２輪車のグローバル輸出拠点化する。新型スクーター「LEAD125」の輸出を初夏に日本向けに開始するのを皮切りに輸出基地として整備する。４カ国目の拠点。（10面）

■パトライト、台湾に事務所
台中ＥＣＦＡ／回転灯など

パトライトは、台湾にパトライト台湾駐在員事務所を開設する。台湾と中国とのＥＣＦＡを活用し、工作機械メーカーの中国や東南アジアへの輸出強化に対応。回転灯など海外展開拡大。（11面）

■ミャンマー日用品メーカー買収
ユニ・チャーム／紙おむつなど

ユニ・チャームは、ミャンマーの日用品メーカーのミャンマー　ケア　プロダクツを買収する。人口増加や経済発展で需要拡大が見込める同国を強化する。生理用品、幼児用紙おむつなど。（28面）

3月26日（火）

■長期出張者向け高級アパート
トヨタグループ／ジャカルタ

豊田通商とトヨタホームは、インドネシア・ジャカルタ郊外のブカシ県で現地企業などと組んで、日系企業の長期出張者ら向けの高級アパート事業に参入。コンビニや日本式の大浴場など。（３面）

■インドネシア・米に工場
エンジン部品／愛三工業

愛三工業は、インドネシアと米国のエンジン機能部品工場を2013年度に増強する。インドネシアでは周辺諸国向けや２輪車向けも含めた需要増に対応する。海外での供給体制を強化。（５面）

■日産・ルノー、インド年30万台
第２工場建設が濃厚に

日産自動車・仏ルノー連合は、2013年度にインドでの生産を25％増の年30万台以上に拡大する。「ダットサン」の生産を始める2014年度に年40万台に。第２工場建設が濃厚に。（５面）

■ＤＩＣ、ホーチミンに新工場
食品包装材用／年1500トン

ＤＩＣは、ベトナムのホーチミン市にある自社工場の敷地内に食品包装材用グラビアインク工場を新設し、７月にも稼働。生産能力は年1000トン程度。2015年までに同1500トンに。（10面）

3月27日（水）

■千代田化工、シンガポール合弁
ギリシャ企業／一貫展開

千代田化工建設は、ギリシャのエンジニアリング会社のコンソリデイテッドコンストラクターズカンパニーとシンガポールに合弁会社を設立した。中東で事業計画からＥＰＣまで一貫展開。（９面）

■シャープ「引き続き交渉」
鴻海、出資見送り

シャープは、26日に期日を迎えた台湾・鴻海精密工業からシャープ本体への出資が見送られた。9.9％出資に合意したが、株価下落などで実現しなかった。引き続き鴻海とは出資交渉。（13面）

3月28日（木）

■新薬の臨床試験受託で海外進出
リニカル／韓国・台湾に現法

リニカルは、新薬の臨床試験受託で海外進出する。2014年にも海外で日本の医薬品メーカー主導による臨床試験が始まるのをにらみ、韓国と台湾に現地法人。臨床試験を請け負う体制。（１面）

■インドネシアで４輪車ブレーキ
日信工業／新工場用地を取得

日信工業は、2013年度中にもインドネシアの合弁会社で４輪車用ブレーキ製品の生産・供給を本格的に始める。これまで２輪車用ブレーキ製品を製造。工場隣接地に新たに用地を取得。（６面）

3月29日（金）

■クボタ、インド合弁を解消
水道用ダグタイル鋳鉄管

クボタは、メタルワン、インドのタタ・メタリクスとで水道用ダグタイル鋳鉄管を製造・販売する合弁会社「タタ・メタリクス・クボタパイプス」における合弁契約を解消した。（９面）

■三菱重工、韓国造船大手に供与
デッキクレーンの製販権

三菱重工業は、韓国造船大手ＳＴＸの子会社のＳＴＸ建設にデッキクレーンの製造・販売権を供与することで合意し、ライセンス契約を結んだ。ＳＴＸの韓・中・欧の生産網を活用。（９面）

■三進製作所、タイ合弁
濾過・排水処理装置の販売・保守

三進製作所は、タイで販売・技術サポート体制を強化する。現地企業とバンコクに合弁会社を設立。日系自動車部品や電子部品関連企業などに、濾過装置と排水処理装置の販売・保守。（11面）

TELOP

■三浦工業、インドネシア稼働
ボイラ年産700台（18日10面）

■アジア販売で機能一元化
リコー（18日11面）

■衣料用芯地、台湾に生産移管
日本バイリーン（18日14面）

■リコー、ソウルに販社
商業印刷機・消耗品（19日10面）

■バングラデシュとＣＯ２取引
経産省（20日２面）

■川重、台湾電力から６基受注
石炭搬送用浮上式コンベヤー（20日５面）

■ベトナムで炭酸を製販
日本液炭／アジア開拓で調査（21日10面）

■インドで廃基板の金属回収
日本磁力選鉱（21日11面）

■東海ゴム、タイ企業を子会社化
環境対応ホース拡充（22日５面）

■ＩＨＩ、ベトナムに新工場
鋼構造物（26日６面）

■藤倉ゴム、ベトナムで増産
自動車用部品（22日５面）

■ショールーム1.5倍に
ヤマザキマザック（22日７面）

■韓国に真空バルブ工場完成
日立造船（22日７面）

■タイ事業戦略に544億円
東レ（22日12面）

■マレーシアで高層マンション
三井不動産（22日13面）

■ベトナム地方政府と協力
近畿経産局（22日29面）

■ミャンマーで商談会
両国から100社参加（25日２面）

■台湾石化プラントに混合・撹拌機
ミューカンパニー（25日11面）

■ミャンマー電力公社に発電設備
三菱重工／１万3000kW（25日11面）

■日鉄住金建材、ベトナム開業式
建築用鋼／合弁（25日18面）

■川重、インドネシア発電設備受注
韓国企業から（26日６面）

■ベトナム石炭火力の優先交渉権
丸紅が獲得（26日13面）

■バングラデシュ造幣に貿易保険
日本貿易保険（26日19面）

■タイで小型セダン「ヴィオス」
トヨタ（27日７面）

■シンガポール科技庁と研究
富士通／都市開発（27日15面）

■椿本チエイン、マレーシアに販社
産機部品販売（28日７面）

■シンガポールでバルブ拡販
キッツ／現地代理店買収（28日９面）

■フィリピンでファイナンス
イオンＦＳ（29日３面）

■タイのアルミ熱間圧延設備を受注
ＩＨＩ／古河スカイから（29日９面）

■印で集塵装置の改造工事受注
日立プラントテクノ（29日９面）

■タイで産業機器のレンタル拡充
レント、営業所新設（29日11面）

■ヤンマー、ベトナムで農業研究
カントー大学に事務所（29日11面）

■サムスン、104億円出資を実行
シャープ（29日14面）

■シンガポールに統括会社
住友化学（29日23面）

● ひと

逆境にどう対応

「韓国の自動車産業が逆境にどう対応するか」と注目する、ランクセス代表取締役兼日本・韓国代表のペーター・ワインマールさん。ウォン高や米国での燃費誇大表示問題の逆風。ただ、「円高の方が厳しかったが、日本の自動車産業は生き残っている」と楽観的。（20日＝７面）

東南アジアの特許需要

「中国、インドの次は東南アジアの特許の需要が高まる」と日本パテントデータサービス社長の仲田正利さん。特許情報検索サービスに東南アジアの特許を加えたいと考える。タイなど数カ国と交渉中だが、「そう簡単にはいかない」と長期戦を見込む。（25日＝15面）

アジアの伸びは異常!?

「中国の販売が回復するには、しばらく時間がかかる」とクラリオン社長の泉龍彦さん。タイやインドネシア、マレーシアの需要が旺盛。ただ「アジアの伸びはちょっと異常。いつまでこの成長が続くのか」と慎重。リスク分散できるかが進出の条件。（27日＝７面）

要の国

「ベトナムの国づくり、競争力のある社会インフラの構築にお手伝いできることをうれしく思う」と日鉄住金建材社長の増田規一郎さん。「周辺諸国の巨大な産業ネットワークを支える要の国になると期待している」と、成長の手応えをつかんでいる。（29日＝23面）